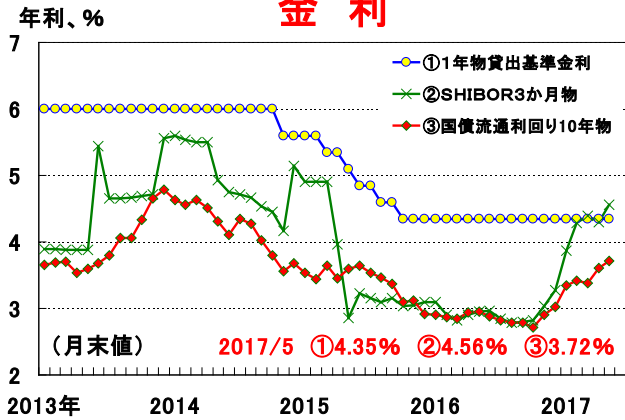


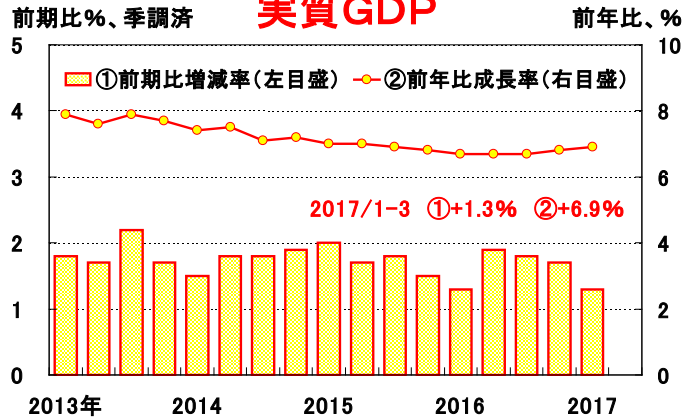
グラフで見る中国経済 2017年6月号(No. 97)

中国景気は緩やかに鈍化している。まず、企業部門では、4月の鉱工業生産が前年比+6.5%と前月の伸び(同+7.6%)を下回った。5月の製造業PMIが49.6(前月は50.3)と11か月ぶりに中立水準の50を割り込んだことが示すように、中小企業を中心に製造業の景況感も弱含んでいる。次に、家計部門をみると、4月の小売売上高は前年比+10.7%(前月は同+10.9%)とやや減速した。また同月の新車販売は同-3.7%と、今年に入り小型車減税措置の減税幅が半分に圧縮されたことを受けて、3か月ぶりの減少に転じた。

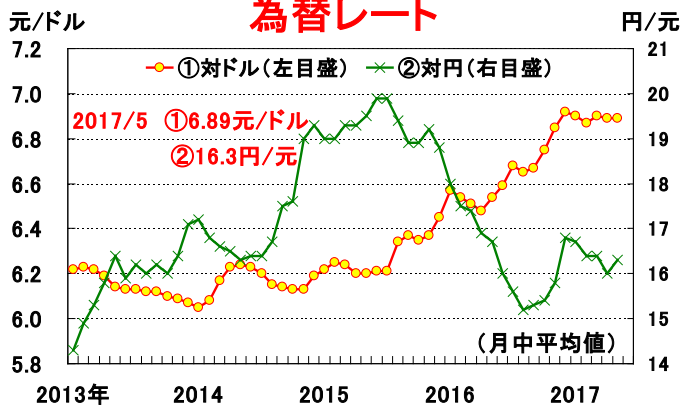
金利



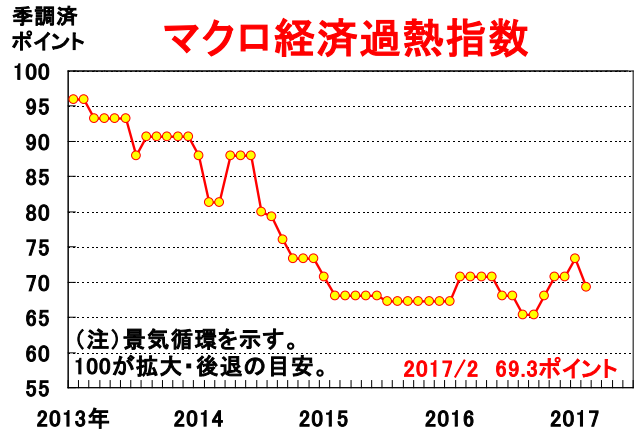
実質GDP



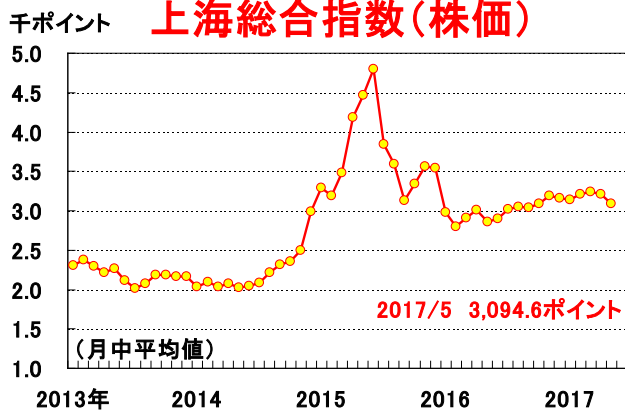
為替レート



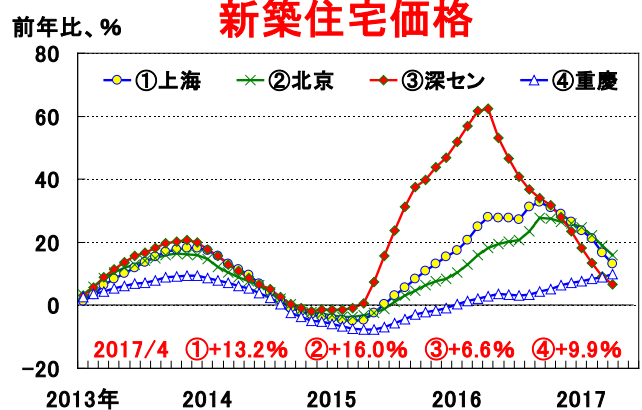
マクロ経済過熱指数



上海総合指数(株価)



新築住宅価格

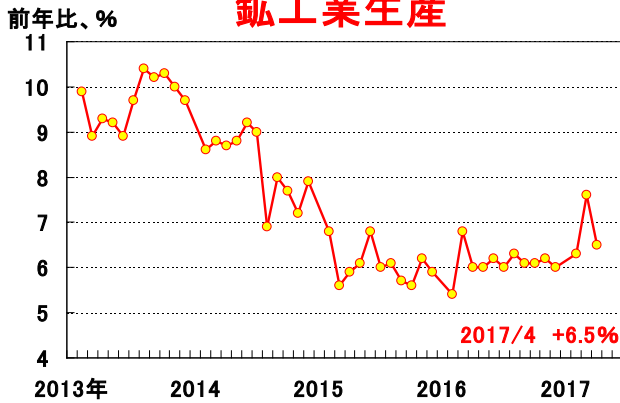


【今月のトピック:「一帯一路」国際会議が初開催】5月14~15日、中国政府は北京で現代版シルクロード経済圏構想「一帯一路(いったいいちろ)」をテーマに初の国際会議を開催した。同会議に130以上の国と70以上の国際機関が参加したこともあり、国内外で注目された。15日発表の成果リストによると、270余りの項目が列挙された。具体的には、まず中国政府が投資拡大と貿易円滑化を目的に、30か国の政府と経済貿易協定を結んだ。また中国当局は資金面で「一帯一路」の推進をサポートするために、新たに総額8,800億元(約14兆円)を拠出すると表明した。

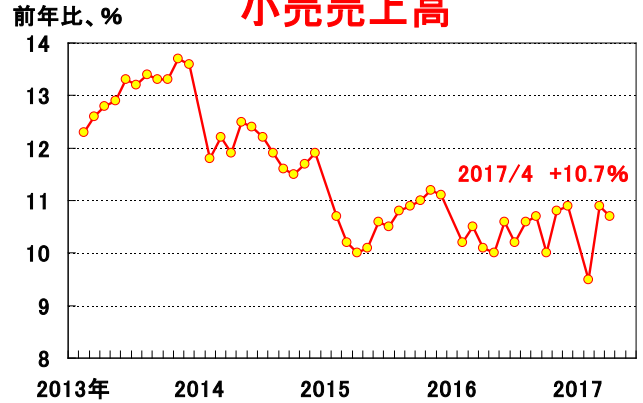
(出所) 中国人民銀行、中国国家統計局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

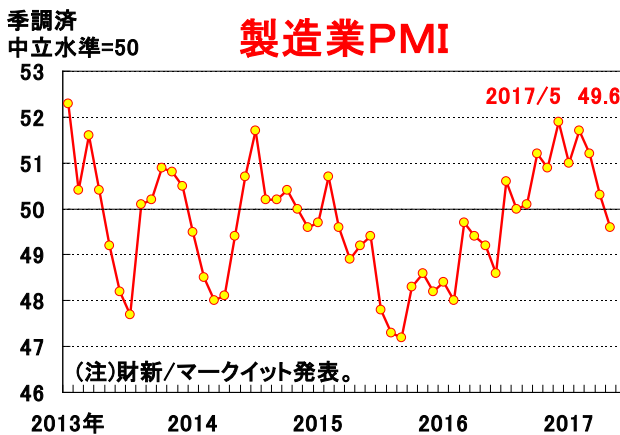
鉱工業生産



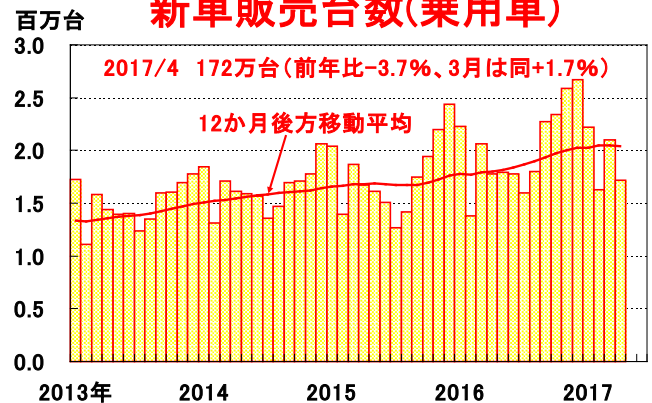
小売売上高



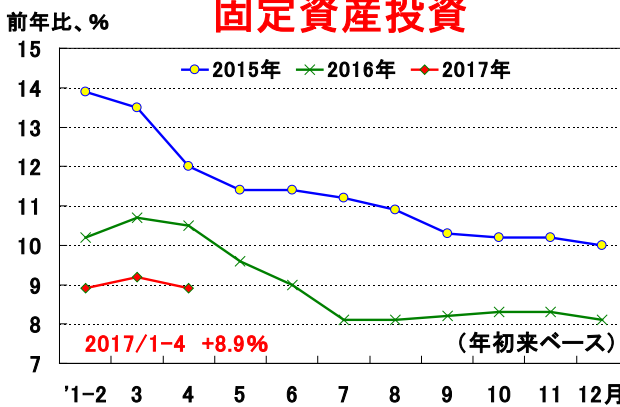
製造業PMI



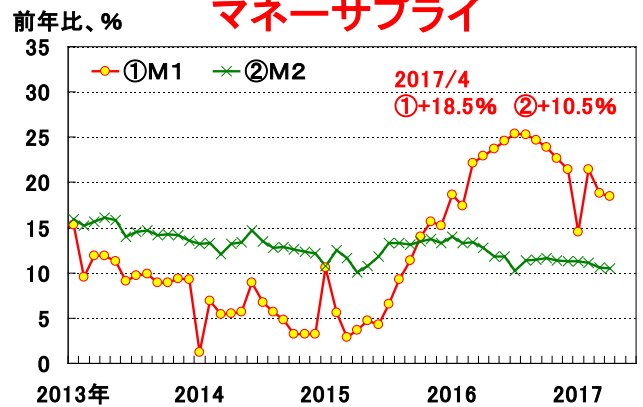
新車販売台数(乗用車)



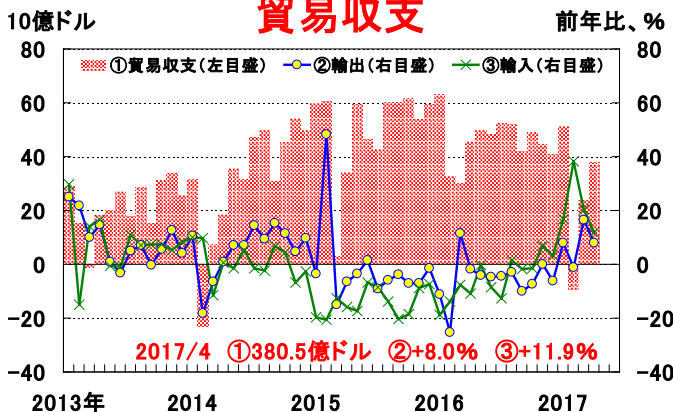
固定資産投資



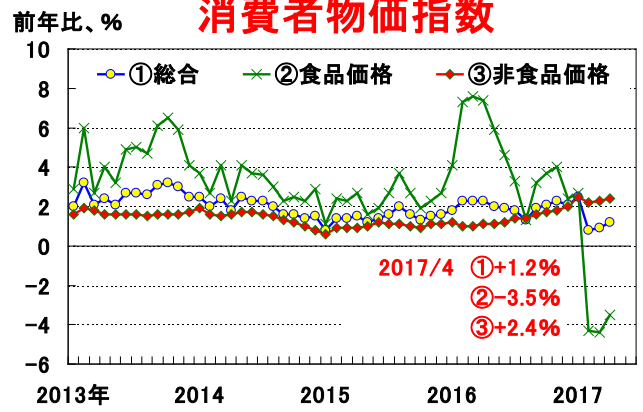
マネーサプライ



貿易収支



消費者物価指数



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国汽车工业协会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。